



## 2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月6日

上場会社名 グローリー株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6457 URL http://www.glory.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 広和  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務本部長 (氏名) 藤川 幸博 TEL 079-297-3131  
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第1四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	48,232	2.2	1,725	△26.5	1,760	47.4	684	103.8
2018年3月期第1四半期	47,213	2.4	2,346	△12.5	1,195	—	335	—

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 2,658百万円 (173.5%) 2018年3月期第1四半期 972百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	10.95	—
2018年3月期第1四半期	5.25	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	296,970	190,017	62.9	2,987.84
2018年3月期	302,825	192,165	62.0	3,003.62

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 186,864百万円 2018年3月期 187,780百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	31.00	—	51.00	82.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	31.00	—	31.00	62.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2018年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 31円00銭 記念配当 20円00銭 (創業100周年記念)

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、同期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	113,000	8.3	7,000	13.3	7,000	47.1	4,000	96.0	63.97
通期	240,000	5.6	20,000	2.0	20,000	13.9	12,000	21.3	191.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	68,638,210株	2018年3月期	68,638,210株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	5,931,205株	2018年3月期	5,931,205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	62,525,680株	2018年3月期1Q	63,939,636株

（注）期末自己株式には、上記のほか、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式があります（2019年3月期第1四半期 165,386株、2018年3月期 189,164株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善等による個人消費の持ち直しや企業収益の改善を背景とする設備投資の増加がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済につきましては、米国、欧州では回復傾向が継続し、アジアでも中国において持ち直しの動きが続くなど、緩やかな回復基調が持続いたしました。

こうした状況のなか、当社グループは、2018年4月からの3ヶ年を計画期間とする『2020中期経営計画』の初年度として、「持続可能な事業運営の基盤づくり」、「社会課題解決に向けた協働の取組み強化」、「成果に直結する生産性の向上と企業体質の強靱化」を基本方針に、事業展開してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、48,232百万円（前年同期比 2.2%増）となりました。このうち、製品及び商品売上高は、31,413百万円（前年同期比 2.0%増）、保守売上高は、16,819百万円（前年同期比 2.5%増）でありました。利益につきましては、営業利益は、1,725百万円（前年同期比 26.5%減）、経常利益は、1,760百万円（前年同期比 47.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、684百万円（前年同期比 103.8%増）となりました。

セグメント別にみますと、次のとおりであります。

## (金融市場)

主要製品である「オープン出納システム」の販売は、中小規模店舗向けのコンパクトタイプを中心に好調であり、窓口用「紙幣硬貨入金機」の販売も、更新需要を捉え好調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、11,887百万円（前年同期比 18.7%増）、営業利益は、1,084百万円（前年同期比 211.2%増）となりました。

## (流通・交通市場)

主要製品である「レジつり銭機」の販売は、コンビニエンスストア向けを始め好調であり、警備輸送市場向け「売上入金機」の販売は堅調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、10,050百万円（前年同期比 4.6%増）、営業利益は、677百万円（前年同期比 11.3%増）となりました。

## (遊技市場)

ホール向け「賞品保管機」の販売は好調であったものの、主要製品である「カードシステム」等の販売は低調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、4,133百万円（前年同期比 22.3%減）、営業利益は、238百万円（前年同期比 38.4%減）となりました。

## (海外市場)

欧州では、流通市場向け「紙幣硬貨入金機<CIシリーズ>」の販売は順調であったものの、米国では、金融市場向け「紙幣入金機<RBGシリーズ>」及び流通市場向け「紙幣硬貨入金機<CIシリーズ>」の販売が低調であり、アジアにおいても中国で金融市場向け「紙幣入金機<RBGシリーズ>」の販売が低調でありました。一方、OEM製品であるATM用「紙幣入金ユニット」の販売は順調でありました。

この結果、当セグメントの売上高は、21,447百万円（前年同期比 1.3%減）、営業利益は、海外生産子会社の一時的な生産調整やプロダクトミックスの悪化等により、23百万円（前年同期比 98.1%減）となりました。

その他の事業セグメントにつきましては、売上高は、713百万円（前年同期比 30.9%増）、営業損益は、298百万円の損失（前年同期は営業損失 218百万円）となりました。

上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2018年5月10日の公表値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	61,154	52,666
受取手形及び売掛金	54,275	47,206
有価証券	2,000	4,000
商品及び製品	31,719	37,557
仕掛品	8,044	8,078
原材料及び貯蔵品	11,599	12,272
その他	6,524	6,147
貸倒引当金	△570	△616
流動資産合計	174,747	167,313
固定資産		
有形固定資産	34,509	34,423
無形固定資産		
顧客関係資産	19,683	20,087
のれん	45,113	45,972
その他	5,977	5,897
無形固定資産合計	70,774	71,956
投資その他の資産		
投資有価証券	10,480	10,202
その他	12,503	13,222
貸倒引当金	△188	△149
投資その他の資産合計	22,794	23,276
固定資産合計	128,078	129,656
資産合計	302,825	296,970
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,587	11,301
電子記録債務	8,519	8,301
短期借入金	21,745	22,615
1年内返済予定の長期借入金	9,006	9,014
未払法人税等	2,143	1,074
賞与引当金	7,732	3,456
役員賞与引当金	105	26
株式付与引当金	71	23
その他	30,710	36,171
流動負債合計	91,620	91,984
固定負債		
長期借入金	4,508	1,759
株式付与引当金	191	203
退職給付に係る負債	2,620	2,457
その他	11,719	10,548
固定負債合計	19,039	14,968
負債合計	110,660	106,952

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,892	12,892
資本剰余金	20,991	20,991
利益剰余金	165,380	162,576
自己株式	△18,022	△17,941
株主資本合計	181,241	178,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	916	851
為替換算調整勘定	5,793	7,645
退職給付に係る調整累計額	△170	△152
その他の包括利益累計額合計	6,538	8,344
非支配株主持分	4,385	3,153
純資産合計	192,165	190,017
負債純資産合計	302,825	296,970

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	47,213	48,232
売上原価	28,427	29,866
売上総利益	18,786	18,366
販売費及び一般管理費	16,439	16,641
営業利益	2,346	1,725
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	74	82
為替差益	—	23
その他	53	70
営業外収益合計	165	212
営業外費用		
支払利息	137	135
為替差損	1,148	—
その他	31	41
営業外費用合計	1,317	176
経常利益	1,195	1,760
特別利益		
固定資産売却益	4	5
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	12	5
特別損失		
固定資産除却損	3	2
その他	0	0
特別損失合計	3	3
税金等調整前四半期純利益	1,203	1,762
法人税等	591	744
四半期純利益	612	1,018
非支配株主に帰属する四半期純利益	276	333
親会社株主に帰属する四半期純利益	335	684

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	612	1,018
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	△64
為替換算調整勘定	134	1,686
退職給付に係る調整額	36	18
その他の包括利益合計	359	1,640
四半期包括利益	972	2,658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	792	2,524
非支配株主に係る四半期包括利益	179	133



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,015	9,607	5,319	21,725	46,668	545	47,213	—	47,213
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,015	9,607	5,319	21,725	46,668	545	47,213	—	47,213
セグメント損益	348	608	386	1,221	2,565	△218	2,346	—	2,346

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	金融市場	流通・交通 市場	遊技市場	海外市場	計				
売上高									
外部顧客への売上高	11,887	10,050	4,133	21,447	47,519	713	48,232	—	48,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,887	10,050	4,133	21,447	47,519	713	48,232	—	48,232
セグメント損益	1,084	677	238	23	2,023	△298	1,725	—	1,725

(注) 1. 「その他」の区分は、上記の報告セグメントに属さない製品及び商品であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。